

## 附論

## 『台湾時報』掲載華南関係記事目録

本庄 比佐子

日清戦争の結果、日本が植民地とした台湾は、その地理的位置や大陸からの移住民の存在など対岸の華南とは密接な関係にあり、日本の対華南進出における要地となったと言えよう。台湾統治のうえでも対岸との関係が重要であったことは言うまでもない。それ故に、台湾総督府やその他の団体は華南の実情を知るべく調査や視察を行っており、それらの記録は当時の華南社会の状況及び台湾の対華南政策を知るうえで、有用な資料であろう。そうした関連資料の一環としてここに取り上げるのは二つの『台湾時報』である<sup>(1)</sup>。発行主体は東洋協会台湾支部と台湾総督府と異なっているが、いずれもが台湾と併せて華南の実相を明らかにすることを刊行目的に挙げている。また、誌面の構成においても、前者では「論説・講演・調査・談林……」、後者では「論説・講演・調査報告・時報・研究資料……」といった事項立てになっていて、また後に見るように、ある種の継続性もないとは言えないと見て両誌をとりあげ、華南関係の記事を採録した次第である。なお、多くはないが華中にも触れているので併せて採録した。

1) 『台湾時報』は、まず東洋協会台湾支部によって1909年1月に創刊された。東洋協会の前身である台湾協会は、台湾に関する事項を研究し、台湾の経営を助けることを目的として、1898年4月に東京で設立された。会頭・桂太郎、幹事長・水野遵、会計監督・大倉喜八郎。翌99年には台湾在住者により台湾支部も組織された。その後、日露戦争の結果として、韓国が日本の保護国となり、「満洲」が日本の勢力範囲に入るという状況に対応するべく、1907年に東洋協会と改称し、事業の対象をこれら地域にも拡大した。

これに伴い東洋協会の支部となった台湾支部は、「支部趣意書」と「支部規約」を作成し、「本部ノ目的ヲ翼賛シ台湾ノ経営ヲ裨補スル」ことを目的として6項目の事業を進めるとした。その第一が「台湾及南清地方

ノ真相ヲ闡明スルコト」であった。ここに台湾と併せて南清を実相究明の対象にしている点について、趣意書には、「台湾ノ統治ヲ議スル者動モスレハ皮相」で、「本島ト輔車唇齒ノ関係ヲ有スル南清地方ノ実勢ニ至リテハ之ヲ詳悉スル者極メテ稀」という状況認識が述べられている<sup>(2)</sup>。

『台湾時報』の刊行は事業の第六に掲げられていたが、「発刊の辞」（支部副長宮尾舜治、創刊号）には、支部の事業のうちで「時報の発刊は急務中の急務」とあり、「本島及南清各方面」の「真相」を明らかにして、本部の『東洋時報』へ材料の提供に努めると述べている。雑誌は創刊から1年間は隔月刊として発行され（1909年1-11月、1-6号）、翌10年から月刊になり、19年5月の113号で終刊となっている。廃刊の理由は、次に記す台湾総督府内台湾時報発行所による同名誌の発行を受けての対応であった。すなわち、同発行所が「同一趣旨により『台湾時報』と題する一大月刊雑誌を発行することに相成其内容大に完備」しており、「支部は之と同趣旨の雑誌を発行するの要な」と考えたのであった。同時に、台湾支部では新『台湾時報』を購入して支部会員に配布することとした<sup>(3)</sup>。

2) 台湾総督府機関誌としての『台湾時報』は、1919年7月に月刊誌として創刊された。刊行目的は、「植民地経営に関する社会の常識を發達せしむるが為」、「台湾の真相」を「民人の脳裡に印象」づけることにあった（「発刊の辞」）。具体的には、「政事、時事、農事、工事、商事、學術、技芸、統計等の報道評論特に台湾に於ける統治状態及び諸般の情況並に南支那南洋に関する事項を周知せしむる為め」と、「台湾時報発行規定」は定めている。以後、発行を続け、1945年3月刊行の302号が最終号となった。

なお、73号（1925年11・12月合併号）には、1921年以来刊行の総督官房調査課編『内外情報』が附録として掲載され、次号以降これを「支那及南洋情報」（118-122号は「南支那及南洋情報」と改題して、143号（31年10月）まで附録になっている。各地の新聞・雑誌などから「南支・南洋」の動向を知り得る材料を摘録したもので、短い記事が多い。1931年11月、本誌から分離して半月刊誌『南支那及南洋情報』となり、1938年4月には月刊誌『南支南洋』となって1941年9月まで刊行されている<sup>(4)</sup>。これら2誌からの華南関係記事の採録については稿を改めて行う予定である。『台湾時報』附録分もそちらへ付けることも考えられたが、別冊附

録ではないので、本誌の一部としてここに記事を採録した。

注

- (1) 発行母体の異なる『台湾時報』を併せて取り上げるヒントは、中島利郎編『『台湾時報』総目録』（緑蔭書房、1997）より得た。
- (2) 台湾協会については、山根幸夫「台湾協会の成立とその発展：日本植民政策の一側面」（『東京女子大学附属比較文化研究所紀要』36号、1975）、向山寛夫「戦前における二つの台湾協会」（『國學院雑誌』31巻2号、1993）を参照。
- (3) 東洋協会台湾支部「会員諸君に告ぐ」（台湾時報発行所『台湾時報』創刊号）。
- (4) 台湾総督府刊行物の書誌情報については、アジア経済研究所図書資料部編『旧植民地関係機関刊行物総合目録 台湾編』（東京：アジア経済研究所、1973）209-215頁参照。

## 『台湾時報』（東洋協会台湾支部）

創刊号（1909.1.20）

[雑纂] ◎汕頭の日本人

第2号（1909.3.20）

[調査] 南清に於ける日本人（其1）

田原禎次郎

[漢文時報] ◎南清革党 ◎福州警察機関

第3号（1909.5.20）

[調査] 南清に於ける日本人（其2）

田原禎次郎

第4号（1909.7.20）

[調査] 南清に於ける日本人（其3）

田原禎次郎

[雑纂] 清国売官と本島人

奇山人

第5号（1909.9.20）

[調査] 海南島踏査

小西成章

[調査] 南清に於ける日本人（其4）

田原禎次郎

[山水] 閩江

池浦生

- 第6号（1909.11.20）  
 [調査] 南清に於ける日本人（其5） 田原禎次郎  
 [漢文時報] ◎南清材木の欠乏
- 第7号（1910.1.20）  
 [調査] 南清に於ける日本人（其6） 田原禎次郎  
 [雜纂] ◎澳門近況
- 第8号（1910.2.20）  
 [調査] 南清に於ける日本人（其7） 田原禎次郎
- 第9号（1910.3.20）  
 [調査] 南清に於ける日本人（其8） 田原禎次郎  
 [漢文時報] ◎広東新兵暴動始末 ◎遊覧南清好機
- 第10号（1910.4.20）  
 [調査] 南清に於ける日本人（其9・完） 田原禎次郎
- 第11号（1910.5.20）  
 [漢文時報] ◎台厦貿易最近統計 ◎長沙饑民変事詳情 ◎広東人之勢力  
 ◎香港之商務略況 ◎対岸瑣事
- 第12号（1910.6.20）  
 [漢文時報] ◎対岸瑣事
- 第13号（1910.7.20）  
 [漢文時報] ◎対岸瑣事
- 第14号（1910.8.20）  
 [雜纂] ◎厦門の商事總會  
 [漢文時報] ◎対岸瑣事
- 第15号（1910.9.20）  
 [漢文時報] ◎広東議排美貨 ◎対岸瑣事
- 第16号（1910.10.20）  
 [雜纂] ◎厦門近況  
 [漢文時報] ◎対岸瑣事
- 第17号（1910.11.20）  
 [交通] 雲南地方状況：世界第一位の鉄道  
 [調査] 厦門方面の典当
- 第18号（1911.1.20）  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎漳厦鐵路第四年之會議
- 第19号（1911.2.27）  
 [雜纂] ◎南清紳士の来遊 ◎外国居留地厦門鼓浪嶼會議員選挙  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎厦門自治局第一次大会
- 第20号（1911.3.28）

- [談林] 香港の近況  
 第21号 (1911.4.20)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎厦門学堂一覽表 ◎閩督借款矣
- 第22号 (1911.5.30)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎福建予算情形 ◎広東禁賭
- 第23号 (1911.6.20)  
 [雜纂] ◎福州の労働賃金  
 [漢文時報—海外雜組] ◎米荒之報 ◎樟業失敗 [福建] ◎查拏文告
- 第24号 (1911.7.30)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎農務總會記事 [福建] ◎閩人之絶技
- 第25号 (1911.8.31)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎閩風復熾 [漳州] ◎衛生影戲 [厦門] ◎漳州学堂狀況
- 第26号 (1911.9.20)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎福州民教辦法
- 第27号 (1911.11.20)  
 [漢文時報] ◎中清革命 ◎四川現状 (轉載)
- 第28号 (1911.12.20)  
 [雜纂] ◎福州通信 (十一月二十四日発)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎福州之事変始末 ◎厦門拳事略記
- 第29号 (1912.1.20)  
 [支那事情] 福建に於ける革命軍の動機 佐倉達山  
 [漢文時報—海外雜組] ◎開剪髮会 [厦門]
- 第30号 (1912.2.28)  
 [支那事情] ◎福州事変後新たに成立したる各種団体 ◎漢口商務總會の郷团组织  
 [財政及經濟] ◎香港に於ける頭髮商況  
 [講演] 南清旅行談 法学士 加福豊次
- 第31号 (1912.3.30)  
 [支那事情] ◎支那人の新需要品 (福州領事館報告抄録) ◎福建省に於ける企業 (在福州日本帝国領事館報告要領)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎閩孫都督之文告
- 第32号 (1912.4.30)  
 [支那事情] 広東財政一斑 (広東総領事より其筋への報告中抄録)  
 [漢文時報—海外雜組] ◎閩省財政困難 ◎閩軍政府職員
- 第34号 (1912.6.30)  
 [支那事情] 中清の近况 [小平惣治 (談)]

- [漢文時報—海外雜俎] ◎漢口悲劇  
 第36号（1912.9.20）
- [漢文時報—海外雜俎] ◎閩都督要電  
 第38号（1912.11.20）
- [漢文時報—海外雜俎] ◎岑西林入閩顛末 ◎閩之恐慌 ◎福建民立銀行  
 第40号（1913.1.30）
- [財政及經濟] 汕頭港貿易  
 [雜纂] ◎福州錨地馬尾の現況  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎閩都督咨聘 ◎賭風日盛 [同安県] ◎厦地械  
 闘  
 第41号（1913.2.25）
- [談林] 隣邦支那の情勢一斑 南商務官  
 [調査] 台湾福州間木材取引  
 [財政及經濟] ◎廣東軍隊の土貨使用  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎粵省蚕業之大利 ◎閩人吁懇帶兵拔烟 ◎支那  
 奇習 [広東] ◎興化匪焰又熾 [福建]
- 第42号（1913.3.31）
- [調査] 南清地方セメント状況  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎丐子悪俗 [厦門] ◎閩省設四道
- 第43号（1913.4.25）
- [海外事情] 福州及九江樟腦市況（福州帝国領事館報告中採録）  
 [海外事情] 広東省の鉱業熱  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎閩省長署兵変
- 第44号（1913.5.20）
- [支那事情] ◎武漢地方の新事業計画  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎閩省長私借外債
- 第45号（1913.6.30）
- [講演] 南清の商工業 法学士 中山秀之
- 第46号（1913.7.20）
- [調査] 厦門に於ける金融機関（通商公報抜録）  
 [支那事情] ◎時局と上海經濟界 ◎汕頭水道会社の現状  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎崇孔社開成立会 [福州] ◎財政前途之困難 [福  
 建] ◎男嫖院 [福州]
- 第47号（1913.8.25）
- [支那事情] ◎上海に於ける西洋梨  
 [漢文時報—海外雜俎] ◎厦門各界擬辦保安公会 ◎福建独立宣布 ◎銀  
 円局招商 [福建] ◎妖山何興 [福建]

第48号 (1913.9.20)

[調査] 恩人の憶念：海南島黎事情の一斑 梅陰生

[漢文時報—海外雜組] ◎閩之情形 ◎時疫盛行 [福州]

第49号 (1913.10.15)

[支那事情] ◎事変と上海經濟界 (在上海帝国総領事報) ◎蕪湖及安慶  
經濟事情 (通商公報) ◎上海蘇州及杭州を中心とする小蒸気船航路 (在  
上海帝国総領事報) ◎廣東生糸市況 (在廣東帝国領事報) ◎上海に於  
ける日本製夏帽の優勢

第50号 (1913.11.15)

[支那事情] ◎最近廣東の生糸貿易を評す (支那新聞所掲) ◎事変と上  
海經濟界 (続報, 在上海帝国総領事報告)

第51号 (1913.12.15)

[支那事情] 南支那見聞録 在香港 HN生

[漢文時報—海外雜組] ◎福州軍隊退伍 ◎劉民政長去閩

第52号 (1914.1.15)

[漢文時報—海外雜組] ◎研究福建塩税之狀況 ◎搶刼駭聞 [厦門]

第53号 (1914.2.15)

[調査] 香港に於ける唐木集散狀況 (在香港帝国領事報告中抜録)

[漢文時報—海外雜組] ◎取消工藝廠 [福建]

第54号 (1914.3.15)

[支那事情] 南支那見聞録 (続) 香港 HN生

[支那事情] 香港旧歳末市況 (在香港帝国領事報告中抜録)

[漢文時報—海外雜組] ◎厦門紀元節

第55号 (1914.4.15)

[支那事情] ◎廣東人の日本觀光団

[漢文時報—海外雜組] ◎接收厦漳鐵路 ◎拐販之風日盛 [福州] ◎領  
事宴客 [福州]

第56号 (1914.5.15)

[雜纂] ◎粵漢鐵道起點地決定

[漢文時報] ◎福建之近況

第57号 (1914.6.15)

[講演] 南支那の近状 法学士 中山秀之

[漢文時報—海外雜組] ◎閩垣新記事

第58号 (1914.7.15)

[財政及經濟] ◎廣東の工業上の地位及勞銀

[彙報] ◎福建借款の誤伝

[漢文時報—海外雜組] ◎江蘇実業參觀団 ◎川軍防堵白狼入川記

## 第59号（1914.8.15）

- [支那事情] ◎上海商取引不振に付て ◎武漢に於ける機織業の勃興  
 [南洋事情] 香港に於ける出入支那移民状況（在香港帝国領事館報告中抜粋）  
 [漢文時報—海外雜組] ◎広東暴風雨

## 第60号（1914.9.15）

- [支那事情] ◎広東省紙幣引換終了 ◎上海に於ける貨物税徴収改正に関する異議  
 [漢文時報—海外雜組] ◎南京之謠言

## 第61号（1914.10.15）

- [漢文時報—海外雜組] ◎閩省募債

## 第64号（1915.1.20）

- [支那事情] 閩江流域調査の概況  
 [彙報] ◎対岸航路の開展

## 第65号（1915.2.15）

- [支那事情] 福州に於ける果実集散状況 [在福州帝国領事報告中抜録]

## 第66号（1915.3.15）

- [支那事情] ◎江蘇省実業行政概況 [南京領事館報告中抜録] ◎海南島の富源

## 第67号（1915.4.15）

- [支那事情] ◎杭州地方の重なる蚕種

## 第68号（1915.5.15）

- [漢文時報] ◎香港糖情  
 [漢文時報—海外雜組] ◎広東全省人戸統計表

## 第71号（1915.8.20）

- [漢文時報—海外雜組] ◎閩巡按使被劾案

## 第72号（1915.9.15）

- [講演] 南支那の近状 法学士 中山秀之  
 [漢文時報—海外雜組] ◎福州警察維持風俗

## 第73号（1915.10.15）

- [漢文時報—海外雜組] ◎福州擬設海軍中学校 ◎福建無線電

## 第74号（1915.11.25）

- [財政及経済] 南支南洋の通貨

## 第75号（1915.12.15）

- [財政及経済] 南支南洋の通貨（承前）

## 第76号（1916.1.15）

- [財政及経済] 南支南洋の通貨（承前）

- [漢文時報—海外雜組] ◎勸業会籌備先声 [福建] ◎故郷鎮守使挙殯 [福建]
- 第77号 (1916.2.15)  
[財政及經濟] 南支南洋の通貨 (承前)
- 第79号 (1916.4.15)  
[彙報] ◎南支南洋視察団  
[漢文時報—海外雜組] ◎興化之民心 [福建]
- 第80号 (1916.5.25)  
[漢文時報—海外雜組] ◎敬告福建首軸及軍官
- 第81号 (1916.6.15)  
[社会及經濟] ◎对岸労働者去来 ◎湖南銀行
- 第85号 (1916.10.15)  
[調査] 支那開港地貿易事情 法学士 木村増太郎
- 第86号 (1916.11.15)  
支那開港地貿易事情 (承前) 法学士 木村増太郎
- 第87号 (1916.12.15)  
支那開港地貿易事情一斑 (承前) 法学士 木村増太郎  
[漢文時報] ◎对岸報片
- 第88号 (1917.1.15)  
南支那の雜観：日本人の發展は此時機に在り  
台湾総督府技師 野呂寧 (談)
- [彙報] ◎厦門警察権問題
- 第89号 (1917.2.15)  
支那開港地貿易事情一斑 法学士 木村増太郎
- 第90号 (1917.3.15)  
[支那事情] ◎粵漢鉄道開通期 (通商公報)
- 第91号 (1917.4.25)  
支那開港地貿易事情一斑 法学士 木村増太郎
- 第94号 (1917.7.25)  
支那開港地貿易事情一斑 山口高等商業学校教授・法学士 木村増太郎
- 第95号 (1917.8.15)  
南支那雜感 台湾総督府事務官・法学士 菊池武芳
- 第96号 (1917.9.15)  
南支那雜感 (承前) 台湾総督府事務官・法学士 菊池武芳  
[支那事情] ◎雲南四川貴州三省聯合会 (中華日報)
- 第97号 (1917.10.15)  
南支那雜感 (承前) 台湾総督府事務官・法学士 菊池武芳

福建省の重要職員

[支那事情] 広東非常国会の景況(新支那)

[彙報] ◎福州の共進会(台湾日日)

第100号(1918.1.15)

[彙報] 下村長官の演説:厦門紳士招宴席上に於ける(台湾日日)

<補白>汕頭通信抄録(ジー, シー氏の)

第101号(1918.2.15)

[支那談片] ◎紹興酒の醸造法(大風日報)

第102号(1918.3.15)

[漢文時報] ◎汕頭震災:奉勸台民之義捐金 ◎厦門博愛病院:日支親善  
之一端 ◎大正六年中支那大事記

第103号(1918.4.15)

[漢文時報] ◎厦門開院式

第104号(1918.5.15)

[支那事情] ◎広東, 各道道尹, 各県知事姓名表(七年四月現在) ◎福  
建現存の報館

[彙報] ◎広東觀光団

第106号(1918.7.15)

[支那事情] ◎広東の現況(国民公報)

第108号(1918.9.15)

[支那事情] ◎南支人の特性と其实業的才能(香港大学教授スミス氏英国  
対支貿易論の一節) ◎香港に於ける工業(在香港鈴木総領事報告)

[漢文時報] ◎広東政府承認問題 ◎広東政府対友邦宣言書

第110号(1918.12.15)

[漢文時報] ◎本島対南支香港之貿易

## 『台湾時報』(台湾総督府内台湾時報発行所)

第2号(1919.8.1)

[研究資料] 香港及び比島事情(香港デーリー・プレス所載) 外事課訳  
支那で歓迎された東洋協会の記者

第5号(1919.11.1)

[研究資料] 支那に於ける棉実油と其製法(汕頭大風日報) 春藻生

[記録] 香港新総督の到着(香港デーリー・プレス所載)

外事課 越村訳

第6号 (1919.12.1)

〔調査報告〕 香港対日本内地、朝鮮及台湾貿易 (大正七年度) (香港領事館報)

第8号 (1920.2.1)

〔調査報告〕 南支南洋金融事情 (大正七年下半年分) 台湾銀行調査

〔調査報告〕 香港千九百十八年度各種報告 (香港デーリー・プレス)

外事課調

〔調査報告〕 支那の桐油

商工課調

第9号 (1920.3.1)

〔論説〕 南支那に於ける列国の商業的勢力の比較

台湾総督府事務官 奥秋雅則

第11号 (1920.5.1)

〔論説〕 南支南洋の意義 台湾軍司令部幕僚参謀 黒田周一

〔調査報告〕 厦門汕頭及福州の貿易近況 (外調週報)

〔調査報告〕 支那南北の政鱗軍爪 (申報、新聞報)

〔調査報告〕 支那及南方事情：◎福建省の木材 (外調週報)

<補白> 広東市街鉄道特許取消問題

第12号 (1920.6.1)

〔榕蔭閑話〕 福建の烟禍

□○子

第13号 (1920.7.1)

〔海外情報〕 三門湾経営の大計画 (新聞報)

第14号 (1920.8.1)

〔調査報告：海外事情〕 香港の金属及金属製品輸入額 (外調週報)

第17号 (1920.12.1)

〔調査報告〕 青島から上海へ：北京漢口を経て：支那と聯絡しての台湾の大発展  
総督府事務官 梅谷光貞

第18号 (1921.1.25)

〔論説〕 南支那の領事裁判問題 高等法院長・法学博士 谷野格

〔論説〕 南支南洋旅行の感想 台湾軍司令部参謀 黒田周一

<補白> 泉州通信

第19号 (1921.2.25)

〔時報〕 ◎汕頭視察団招宴

遊支雑感：在支邦人の三省を促す

関口泰

〔雑報〕 ◎汕頭觀光団来る ◎第二回汕頭觀光団

第21号 (1921.4.30)

〔台湾関係新法律及予算〕 ◎南部支那領事裁判に関する法律

第22号 (1921.5.25)

- [口絵(写真)] 台湾に於ける広東人留学生  
 [漫録] 広東印象記 関口泰  
 [雑報] 福建人と広東人(大正九年十二月末日現在) 警務局調  
 [漢文時報] ◎厦門將設交涉專員  
 <補白> 香港の繁榮と賭博の自由
- 第23号(1921.6.20)  
 福州、厦門及汕頭の近状 三井物産(株)福州厦門出張所長 近藤鎮藏  
 [時報] ◎対岸領事打合会(外事課報) ◎上海へ台湾代表選手派遣
- 第28号(1921.11.15)  
 [調査研究] 香港々湾の設備(上) 税関事務官 井出季和太
- 第29号(1921.12.5)  
 [調査研究] 香港々湾の設備(下) 税関事務官 井出季和太
- 第30号(1922.1.1)  
 [調査研究] 香港の阿片事情 税関事務官 井出季和太
- 第31号(1922.2.10)  
 [雑俎] 雲南行 総督府囑託 田沢震五
- 第32号(1922.3.10)  
 [時報] ◎高等商業の南支南洋研究会  
 [雑俎] 長江感慨ほつりほつり GS生  
 <補白> 支那南方産糖の重要地
- 第33号(1922.4.10)  
 [調査研究] 香港の貿易 税関事務官 井出季和太  
 [雑俎] 長江感慨ほつりほつり GS生
- 第34号(1922.5.15)  
 [調査研究] 香港の貿易(承前) 税関事務官 井出季和太  
 [雑俎] 長江感慨ほつりほつり GS生
- 第35号(1922.6.15)  
 広東市政観 台南市理事官 佐藤矢  
 [調査研究] 香港の貿易 税関事務官 井出季和太  
 [雑俎] 長江感慨ほつりほつり GS生
- 第36号(1922.7.15)  
 [調査研究] 香港の貿易 税関事務官 井出季和太  
 [調査研究] 香港大学の現状 ミドルトン・スミス述 越村生訳
- 第37号(1922.8.15)  
 [調査研究] 香港の貿易 税関事務官 井出季和太  
 [調査研究] 香港大学の現状(承前)
- 第38号(1922.9.10)

- 汕頭の災害（巻頭言）  
 [時報] ◎汕頭災害義捐  
 第39号（1922.10.5）  
 [時報] ◎汕頭住民の感謝  
 [調査研究] 広東の貿易 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 第40号（1922.11.1）  
 [調査研究] 広東の貿易 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 第41号（1922.12.1）  
 [調査研究] 支那の茶業（『農商公報』11月6日号）  
 台湾総督府嘱託 小林一馬訳  
 [調査研究] 汕頭の貿易 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 第43号（1923.2.1）  
 [調査研究] 厦門の貿易 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 第47号（1923.7.20）  
 台湾の対岸関係に就て 台湾総督・男爵 田健治郎  
 第48号（1923.9.10）  
 雲南を旅して 郷間正平  
 支那に於ける経済的奇観 高井生  
 第51号（1923.12.20）  
 南支南洋に商務官新設の提唱 三井物産会社台北支店長 津久井誠一郎  
 第52号（1924.1.10）  
 南支那の衛生状態 台湾総督府技師 梅本英太郎  
 南支南洋の病院施設に就て 総督府医院医長 本名文任  
 [調査研究] 上海築港問題の過去及現在  
 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 [雑録] 雲南旅行の一節 雲山魯水生  
 第54号（1924.3.15）  
 [調査研究] 厦門に於けるセメントの概況 殖産局商工課  
 第55号（1924.4.15）  
 [調査研究] 上海の概況 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 第56号（1924.5.10）  
 台湾と対岸との関係に就て 内田総督訓示  
 [調査研究] 上海港と其の設備 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 [島情] ◎領事会議々案  
 第57号（1924.6.10）  
 [調査研究] 上海の居留地制度（上）台湾総督府税関事務官 井出季和太  
 第58号（1924.7.10）

〔調査研究〕 上海の居留地制度（下）台湾総督府税関事務官 井出季和太  
第59号（1924.8.10）

〔調査研究〕 上海の土地及裁判制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
第60号（1924.9.5）

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

〔調査研究〕 最近香港政務の概観：一九二三年の財政，警察及刑務（香港  
デーリー・プレス所載） 越村生記

第61号（1924.10.5）

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

〔調査研究〕 汕頭の貿易概況：大正十二年度（汕頭税務司貿易年報抜粋）  
越村生記

第62号（1924.11.10）

南支南洋経済調査会の設置を提唱す

三井物産会社台北支店長 津久井誠一郎

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

〔調査研究〕 香港政府阿片専売の前途（香港デーリー・プレス所載）  
越村生記

〔島情〕 ◎南支南洋の経済事情

第63号（1925.1.1）

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

第64号（1925.2.1）

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

第65号（1925.3.1）

〔時報〕 ◎汕頭博愛医院の開院式

〔論説〕 汕頭博愛医院の開院に就て 汕頭博愛会長・帝国領事 内田五郎

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

〔調査研究〕 最近汕頭の商況：大正十三年の概要 殖産局商工課

第66号（1925.4.1）

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

〔調査研究〕 支那産の生卵と同製品 片寄生記

第67号（1925.5.1）

〔調査研究〕 厦門に於ける海産物貿易と其の売行 殖産局商工課

第69号（1925.7.15）

上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

支那の豚毛と羊毛 片寄生記

第70号（1925.8.15）

〔調査研究〕 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

第71号 (1925.9.15)

[調査研究] 上海の関税制度 台湾総督府税関事務官 井出季和太

第73号 (1925.11.30)

[調査研究] 上海の関税制度 (完結) 台湾総督府税関事務官 井出季和太  
内外情報 総督官房調査課

◎広東及汕頭情報

第74号 (1926.1.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎閩南時局に関する情報 ◎厦門排英風潮の近情 ◎厦門短信 ◎粵軍  
江西に入るの内情 ◎蔣軍三路入閩の勢あり ◎罷工解決機運其後の模  
様 ◎広東自衛団の変遷史 ◎広西兵禍未だ熄まず

第75号 (1926.2.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎閩南局勢の変化 ◎最近広東政府職員録 ◎広東海南島情報 ◎広州  
市財政局の章程 ◎桂軍旧将領の内争終熄を願ふ通電 ◎広西の内訌未  
だ息まず ◎広西督會辦行營新条例 ◎厦門台湾人口統計表 (大正十  
四年十二月分)

第76号 (1926.3.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎最近に於ける湖北省兵力の調査 ◎閩南軍事の收拾 ◎福建周督辦の  
盧部収編説 ◎漳州近事 ◎汕頭金融の概況 ◎広東国民革命軍二十師  
に編成 ◎香港工潮調停の経過 ◎香港経済状況の危機 ◎広東国民政  
府頒布の陸軍刑律 (1)

第77号 (1926.4.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎福建省軍備の拡張 ◎広東省の最近施設一斑 ◎民国十四年広東政史  
◎広東国民政府頒布の陸軍刑律 (下)

第78号 (1926.5.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎閩粵間の危機と閩省軍議 ◎南閩近情 ◎香港航業経済の新調査

第79号 (1926.6.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎湖南省局今後の趨勢 ◎湖南変局の裏面に潜む神秘的人物 ◎漳州情  
報 ◎厦門市中に於ける五月九日遊行の記 ◎漳泉軍事要聞 ◎汕頭情  
報 ◎汕頭管内電灯会社及電球取扱商 ◎汕頭通信 ◎広州各工会人数  
の調査 ◎広東省の生糸生産状況 ◎広東国民政府及国民党要人録 ◎  
香港の排貨と其影響

## 第80号 (1926.7.15)

[調査研究] 支那の水産業概観 台北州技師 宮上亀七

[調査研究] 民国十四年度の中国紡織工場の調査

小林一馬訳

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎一九二五年上海に於ける紙類輸入状況 ◎鼓浪嶼工部局の学生逮捕問題 ◎一九二五年の厦門貿易 ◎漳・厦情報 ◎周蔭人对粵の方針 ◎閩南民軍の剿辦 ◎広東・汕頭情報 ◎香港罷工解決に対する国民党意見 ◎汕頭に於ける洋紙類の移輸入と印刷業 ◎香港港務局一九二五年度報告 ◎雲南の国恥記念日状況

## 第81号 (1926.8.15)

[調査研究] 民国十四年度の中国紡織工場の調査 (2)

小林一馬訳

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎鼓浪嶼公共市問題 ◎厦門鼓浪嶼公共市公約草案 ◎汕頭薬品類の需給と本邦品売行状況 ◎広東政府の匪賊討伐に関する計画 ◎香港政庁罷工解決に誠意なし ◎広東汕頭情報 ◎大正十四年七月より十五年三月まで広東主要物価表

## 第82号 (1926.9.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎党聯兩軍総攻撃の湖南戦況 ◎湖南戦局の近状 ◎呉佩孚の南下と平江岳州の警急 ◎東南時局と海軍 ◎孫伝芳の湖南戦に対する態度 ◎薩省長閩厦要塞警備総司令たらんか ◎三点会匪近く厦門より南洋へ亡命 ◎福建軍の江西援助趨勢 ◎広東民政庁の各属行政監督の増設計画 ◎広東北伐軍出征と其後の情況 ◎中国潮州に於ける糖業の衰退

## 第83号 (1926.10.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎上海・広東間に於ける航海業の近況 ◎両漢の南附と武昌の困守 ◎江西に於ける南北軍の行動 ◎福建広東間の戦争は爆発せん ◎党軍の江西福建進攻と福建広東の風雲 ◎東南五省聯盟第四方面軍(福建)の状況 ◎広東政府の私立学校取締 ◎英国軍艦突然珠江に入る ◎雲南大理府変乱の経過

## 第84号 (1926.11.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎湖北省上下游の軍情 ◎江西湖北両省境内聯軍の駐兵地点と形勢 ◎武昌終に開城す ◎聯軍第四方面軍(福建)の作戦方針と配置 ◎周蔭人氏防粵援贛の新戦略 ◎広東革命軍第一軍の対閩作戦準備 ◎閩粵間

の軍報 ◎広東政府の新税問題 ◎広東対英罷業の緩和 <香港> 酒類  
に対する輸入税の引上

第85号 (1926.12.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎最近聯合軍の現状調査 ◎孫氏の得意は失意の初 ◎孫伝芳の九江引揚に関する別報 ◎革命軍の損失調査概数 ◎九江の秩序漸く恢復 ◎浙江省軍隊最近の調査 ◎福建省軍(五省聯軍第四方面軍)の危機 ◎周蔭人敗退後の福建局勢 ◎閩粵第一会戦後周蔭人の福建固守 ◎第四方面軍周蔭人部残存兵力の調査 ◎汀州・漳州を失ひし後の福建軍新計画 ◎広東政府左右派消長の現勢 ◎閩粵第一会戦後の革命第一軍状勢 ◎上海浦東の職工模範村 <香港>一九二七年度新予算

第86号 (1927.1.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎十一月中下旬の安徽防備 ◎南昌会議に於ける党軍の東南進攻計画 ◎党軍の湖北省西部北部の肅清計画 ◎革命軍の拡充計画 ◎安徽・江西・湖北間に於ける聯軍及党軍の現勢 ◎周蔭人福建変局に対する新計画

第87号 (1927.2.15)

[説苑] 厦門と汕頭

石川欽一郎

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎江西省財政の整理 ◎八閩風雲の経過

第88号 (1927.3.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎孫伝芳軍の敗退と上海南京 ◎南昌革命軍総司令の組織換 ◎江西省政府の積極的準備 ◎唐生智が湖南西部肅清の規画 ◎四川楊森部隊改編の情況 ◎汕頭情報 ◎広東漢口間航空営業の準備 ◎広西の軍法辦事細則 ◎民国十五年中支那戦紀 ◎浙江省の交通(上)

第89号 (1927.4.15)

[説苑] 革命支那の旅(1)

波多満

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎武漢中央執行委員会新選挙情況と評論 ◎唐生智の軍隊拡充 ◎孫軍浙江投出しより南軍の上海占領まで ◎汕頭情報 ◎広西軍隊の改編 ◎民国十五年中支那戦紀(続) ◎浙江省の交通(下)

第90号 (1927.5.15)

[講演] 南支南洋園芸視察談

士林園芸試験支所長 桜井芳次郎

[説苑] 革命支那の旅

波多満

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎南京の陥落と各外人の被害 ◎汕頭情報 ◎広東に於ける定期刊行  
物調査 ◎広西省の施政方針 ◎雲南時変解決の近音

第91号 (1927.6.15)

[講演] 南支南洋園芸視察談(2) 士林園芸試験支所長 桜井芳次郎  
[説苑] 革命支那の旅 波多満  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎武漢政府の危急と大変動 ◎国民政府南京移転後の情報 ◎廈門鼓浪  
嶼交渉近情 <香港>一九二六年度に於ける香港の歳出入

第92号 (1927.7.15)

[講演] 南支南洋園芸視察談(3) 士林園芸試験所所長 桜井芳次郎  
[説苑] 革命支那の旅(3) 波多満  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎福建省の近情 ◎汕頭の反日と推移 ◎上海の錢莊業調査

第93号 (1927.8.25)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎漢口英租界第三特別区市政局章程 <香港>◎一九二七-二八年度の香  
港植民地評定価格 ◎一九二六年に於ける香港港湾の趨勢

第94号 (1927.9.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎暴力政治下の湖南

第95号 (1927.10.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎広東情報 ◎江蘇の棉産情態調査

第96号 (1927.11.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎湖広に於ける共産軍の経過 <香港>◎一九二六年に於ける香港人口  
◎香港の発達に関する香港総督の演説摘録

第97号 (1927.12.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎福建時局変化の経過 ◎広東情報 ◎上海の経済的地位及其発展問題

第98号 (1928.1.15)

[寄書] 支那の時局と支那貿易の消長(3) 台湾総督府税関 井出季和太  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎広東新政府設立の経過 ◎広東の東江・西江・北江の軍情 ◎共軍広  
州占拠前の広東情勢 ◎共産軍の廣州占拠と反共軍の克復

第99号 (1928.2.15)

[時報] 商工, 華南兩銀行融資決定

- [寄書] 支那の時局と支那貿易の消長(4) 台湾総督府税関 井出季和太  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎昨年(民国十六年)中支那戦局の回顧 ◎閩南新編軍残部の活動  
第100号(1928.3.15)
- [寄書] 支那の時局と支那貿易の消長(5) 台湾総督府税関 井出季和太  
第101号(1928.4.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎程白晤商後の湖南近勢 ◎福厦情報  
第102号(1928.5.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎福建情報  
第103号(1928.6.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎福建近情 ◎広東政府並に広東省党部の組織及び重要職員名 ◎雲南  
新省政府成立の情況  
第104号(1928.7.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎上海市長の旗民名称廃除の訓話 ◎広東近情  
第105号(1928.8.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎湖南政府成立式と魯主席の宣言 ◎福州情報 ◎広東各界対日の情況  
◎修正広東省政府組織法 ◎広東情報 <香港>一九二七年末現在の  
香港人口  
第106号(1928.9.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎武漢の対日絶交經過 ◎福建省近情 ◎広東・汕頭近情  
第107号(1928.10.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎福建省近情 ◎福州反日大会組織大綱 ◎汕頭情報 ◎広東情報 ◎  
英領事の梧州行は何か ◎広西の兵農政策と委員会 ◎浙江地質第一期  
第一号  
第108号(1928.11.15)  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
◎福建省独立第十四師の現状と福州軍情 ◎福建省近情 ◎汕頭近情  
◎広東近情 ◎広西省十七年度施政の大綱 ◎広西省の実業 <香港>  
香港に於ける航空運動

## 第109号 (1928.12.15)

[時報] ◎南支線に優秀船就航

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎福建省民国十七年度教育費予算 ◎福建省軍縮の進行如何 ◎福厦近情 ◎広東市駐屯の軍隊の数は一万三千 ◎黄紹雄来広の目的 ◎広東対日経済絶交会の改組 ◎香港政府の回答と支那商船廃汚 ◎広東汕頭近情 ◎広西省柳州大火の広東に於ける影響 ◎新広西の現状

## 第110号 (1929.1.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎福建西部に於ける共産党の優勢 ◎福建近情 ◎福州駐劄各国領事団の抗議書訳文 ◎広東黄埔の築港計画 ◎粵漢線の建設計画 ◎広東政府の度量標準改正 ◎広東近情 ◎汕頭近情

## 第111号 (1929.2.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎福建省に於ける共産党の活躍振 ◎福建近情 ◎汕頭に於ける工友会の対日緊張 ◎広東省各税関の昨年及本年上半季収入 ◎最近の広東在留邦人の戸口数 ◎広東省政府主席陳銘枢の就任演説 ◎広東人士の英仏海底電車会社に対する熱望 ◎広東近情 ◎雲南の排日

## 第112号 (1929.3.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎上海の航業現状 ◎浙江省最近政務の概況 ◎福建近情 ◎厦門党政軍聯席会議の成立 ◎広東省政府の交通通信等新施設 ◎汕頭に於ける寺廟廢毀に関する趨勢 ◎汕頭共産軍の情況 ◎広東近情 ◎雲南排日続報

## 第113号 (1929.4.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎湖南事件の経緯 (其1) ◎広東近情 ◎昭和三年中広東物価表 (華南銀行調査)

## 第114号 (1929.5.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎広西討伐令と南京軍の総攻撃及武漢の陥落 ◎福建近情 ◎汕頭近情 ◎両広近情 ◎十七年度の梧州輸出入貿易額

## 第115号 (1929.6.15)

支那及南洋情報

台湾総督官房調査課

◎四川省政府成立と各委員の宣誓就職 ◎南安民軍陳国輝と閩南党部との敵対 ◎朱毛共匪江西省西に入る ◎福建近情 ◎汕頭近情 ◎両広近情

第116号 (1929.7.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎民国十七年度福建省歳出入概算 ◎民国十七年度福建省地方税歳出入概算 ◎三都澳並に寧都県地方の状況 ◎閩西の混乱最も甚し ◎福建近情 ◎両広近情 ◎広西省五十二県の人口調査 ◎雲南省の水道と航行権

第117号 (1929.8.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎四川省綏遠省各党務指導委員の改組 ◎福建近情 ◎広東省最近の財政情況 ◎両広近情 ◎貴州局勢の急変と善後 ◎雲南省政府の金融紊乱三因

第118号 (1929.9.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎四川辺境西康は英兵に占領さる ◎福建財政特派員徐桴の上海財政局長 ◎福建共産党軍の近情と剿討計画 ◎広東省最近の財政概況 ◎両広近情 ◎雲南龍雲の討貴は広西救援者阻止 ◎上海毛棉織物工廠の調査

第119号 (1929.10.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建省主席再度の赴厦督師 ◎福建近情 ◎広東軍隊編制の現在及将来 ◎両広近情 ◎漢口麻業の調査 (上)

第120号 (1929.11.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎南支那に於ける反蔣運動 ◎福建近情 ◎汕頭市八月現在支那人人口及戸数表 ◎両広近情 ◎漢口麻業の調査 (下)

第121号 (1929.12.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建省財政事情 ◎福建近情 ◎両広近情

第122号 (1930.1.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎民国十八年度福建省歳出入予算概要 ◎福建近情 ◎両広近情

第123号 (1930.2.15)

支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎漢口の豚毛業 ◎福建省土著軍隊と中央派遣軍 ◎福建西部各県の共産土著両匪の剿討 ◎福建省政局の変化と詳情 ◎広東輸入台湾炭の脅威はボ、印両炭か ◎両広近情

第124号 (1930.3.15)

- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎張貞師長の現状 ◎湖南軍の入桂は三回に及ぶ ◎両広近情 ◎浙江の樟腦 ◎香港雜報
- 第125号(1930.4.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎広東全省各県の等級別 ◎両広近情 ◎雲南は一先づ落着 ◎浙江省金華ハム
- 第126号(1930.5.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎昭和四年中広東物価表(華南銀行調査) ◎両広近情 ◎龍州の共禍に対し仏国の手入れ ◎雲南龍総指揮の広西出師準備
- 第127号(1930.6.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎両広近情
- 第128号(1930.7.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎両広近情
- 第129号(1930.8.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎張桂聯軍の湖南退出 ◎広東蚕糸改良局の活動振り ◎両広近情
- 第130号(1930.9.25)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎広東北江獠民の生活状態と開発政策 ◎両広近情
- 第131号(1930.10.25)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎両広近情
- 第132号(1930.11.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎両広近情
- 第134号(1931.1.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎東方大港建設準備の経過 ◎三門湾石浦港の現状 ◎閩南嵩嶼開港の計画 ◎福建近情 ◎両広近情
- 第135号(1931.2.15)
- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎広東化猪局猪山開発の昨今 ◎両広近情
- 第136号(1931.3.15)

- 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎南方支那新式工業の工人統計 ◎福建近情 ◎昭和五年中広東重要物  
 価表 ◎両広近情  
 第137号 (1931.4.1)  
 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建省政府第二十年施政大綱 ◎広東全省商機活躍の勢あり ◎両  
 広近情  
 第138号 (1931.5.1)  
 [寄書] 南支の医事衛生の現状と我が対岸の医療施設  
 台湾総督府技師・医学博士 下条久馬一  
 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎杭州の皮革工業調査(其1) ◎福建省防各軍の整理 ◎福建近情  
 ◎広九鉄道の新施設 ◎両広近情 <香港>蓬萊水産会社の近況  
 第139号 (1931.6.1)  
 [寄書] 南支の医事衛生の現状と我が対岸の医療施設(承前)  
 台湾総督府技師・医学博士 下条久馬一  
 [寄書] 革命を「バック」とせる広東の工業  
 台湾総督府殖産局 加藤晴治  
 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎三門湾開港に関する実施計画の概要 ◎杭州の皮革工業調査(其2)  
 ◎福建省政府閩江修濬総局組織規程 ◎福建近情 ◎両広近情  
 第140号 (1931.7.1)  
 [寄書] 南支の医事衛生の現状と我が対岸の医療施設  
 医学博士 下条久馬一  
 [寄書] 革命を「バック」とせる広東の工業  
 台湾総督府殖産局 加藤晴治  
 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎上海大理石廠の創設 ◎福建近情 ◎孫元鉄道部長の広東時局斡旋  
 ◎広東非常会議の宣言 ◎広東国民政府組織大綱 ◎両広近情  
 第141号 (1931.8.1)  
 [埋草] 邦人工場上海進出  
 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課  
 ◎福建近情 ◎両広近情  
 第142号 (1931.9.1)  
 [寄書] 南支南洋に於ける鉱物の分布状態と其経済的価値調査の必要  
 総督府技師 高橋春吉  
 支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎福建近情 ◎両広近情

第143号 (1931.10.1)

[寄書] 对支貿易の不振と台湾貿易の振興策 督府事務官 井出季和太  
支那及南洋情報 台湾総督官房調査課

◎揚子江下流一帯の惨たる大水害 ◎福建近情 ◎南支方面邦人漁業問題  
◎雲南辺境と英国人の進展

第148号 (1932.3.1)

[時報] ◎上海事件

第149号 (1932.4.1)

最近の南支南洋経済事情：邦人企業の現況及び将来 殖産局商工課

[時報] ◎上海事变

第152号 (1932.7.1)

[時報] ◎南支南洋施設費

第156号 (1932.11.1)

[隨想欄] 閩北と呉淞

佐藤佐

第157号 (1932.12.1)

南支那蕃族の奇習 (1)

井出季和太

第158号 (1933.1.1)

南支那蕃族の奇習 (2)

井出季和太

第159号 (1933.2.1)

南支那蕃族の奇習 (3)

井出季和太

[時報] ◎上海台湾反帝同盟

第160号 (1933.3.1)

南支那蕃族の奇習 (4)

井出季和太

[時報] ◎上海領事館警察部

第161号 (1933.4.1)

南支那蕃族の奇習 (5)

井出季和太

第162号 (1933.5.1)

南支那蕃族の奇習 (6)

井出季和太

第163号 (1933.6.1)

南支那蕃族の奇習 (7)

井出季和太

第164号 (1933.7.1)

南支那蕃族の奇習 (8)

井出季和太

第165号 (1933.8.1)

商港香港市の工業

加藤晴治

南支那蕃族の奇習 (9)

井出季和太

第168号 (1933.11.1)

厦門及汕頭の工業	加藤晴治
第169号 (1933.12.1)	
時局と支那貿易概観 附・香港及台湾	井出季和太
第170号 (1934.1.1)	
時局と支那貿易概観 附・香港及台湾	井出季和太
南清航路とドグラス汽船会社	吉開右志太
第171号 (1934.2.1)	
支那の奇習	井出季和太
第172号 (1934.3.1)	
南清航路とドグラス汽船会社	吉開右志太
福建省の中華共和国前・後	小林一馬
支那の奇習	井出季和太
第173号 (1934.4.1)	
福建省の中華共和国前・後	小林一馬
南清航路とドグラス汽船会社	吉開右志太
支那の奇習	井出季和太
第174号 (1934.5.1)	
支那の奇習	井出季和太
[時報] ◎対岸派遣員会議	
第175号 (1934.6.1)	
支那の奇習	井出季和太
第176号 (1934.7.1)	
支那の奇習	井出季和太
第177号 (1934.8.1)	
支那の奇習	井出季和太
[時報] ◎対岸領事会議	
第178号 (1934.9.1)	
[隨感隨想] 南支漫遊記 (1)	田中重雄
揚子江流域の對外貿易情態	前田健次
第179号 (1934.10.1)	
[隨感隨想] 南支漫遊記 (2)	田中重雄
揚子江流域の對外貿易情態	前田健次
支那の奇習	井出季和太
第180号 (1934.11.1)	
南支漫遊記 (3)	田中重雄
支那の奇習	井出季和太
第181号 (1934.12.1)	

- [隨感隨想] 南支漫遊記(4) 田中重雄  
 第182号(1935.1.1)  
 [時報] ◎福建省考察団  
 第186号(1935.5.1)  
 [時報] ◎対岸邦商金融  
 第188号(1935.7.1)  
 香港及び南支那の近情 郡茂徳  
 第189号(1935.8.1)  
 香港及び南支那の近情 郡茂徳  
 南支印象雜録：福建省を縦断して 許炎亭  
 広東紀程 高橋南山  
 第190号(1935.9.1)  
 支那貿易の大観と南支重要港の港勢 井出季和太  
 南支印象雜録：福建省を縦断して 許炎亭  
 第191号(1935.10.1)  
 南支印象雜録：福建省を縦断して 許炎亭  
 那貿易の大観と南支重要港の港勢 井出季和太  
 第193号(1935.12.1)  
 南支印象雜録：福建省を縦断して 許炎亭  
 南支那の産業 吉良義文  
 [時報] ◎台湾・福建親善飛行  
 第194号(1936.1.1)  
 台湾と南支那との村落居住景観の比較 冨田芳郎  
 南支那の産業 吉良義文  
 香港の地名に就て 井出季和太  
 第195号(1936.2.1)  
 南支那の産業 吉良義文  
 第196号(1936.3.1)  
 福州雜拾 宮地硬介  
 第197号(1936.4.1)  
 福州雜拾 宮地硬介  
 福建省之鉱業 H生訳  
 第198号(1936.5.1)  
 福州雜拾 宮地硬介  
 福建省之鉱業 H生訳  
 第199号(1936.6.1)  
 福州雜拾 宮地硬介

南支遊記	上原景爾
第200号 (1936.7.1)	
福州雑拾	宮地硬介
南支遊記	上原景爾
西南二省に於ける『焦土抗戦』論	草壁亀雄
第201号 (1936.8.1)	
海南島の人民	井出季和太
第202号 (1936.9.1)	
海南島の人民	井出季和太
第203号 (1936.10.1)	
海南島の人民	井出季和太
第206号 (1937.1.1)	
各国の海外放送と南支南洋の放送情況	小坂正文
第207号 (1937.2.1)	
福建省地方の習俗	井出季和太
第208号 (1937.3.1)	
福建省地方の習俗	井出季和太
第209号 (1937.4.1)	
<補白> 福建省記者団のステートメント	
福建省地方の習俗	井出季和太
第211号 (1937.6.1)	
福建省地方の習俗	井出季和太
第214号 (1937.9.6)	
南支那貿易と台湾特殊貿易の検討	井出季和太
第215号 (1937.10.1)	
南支那貿易と台湾特殊貿易の検討 (正誤表217号)	井出季和太
支那事変と南支座談会：引揚邦人を繞る	
福州総領事内田五郎・厦門副領事高橋茂・汕頭居留民会長梅津昌・[広東] 博愛醫院長山中覚・[総督府] 海軍武官肥後中佐, ほか	
南支に於ける抗日運動の実相 (1)	石井喜之助
最近の支那旅行見聞記	佐藤佐
戦渦の上海より	上海台湾物産陳列所長 高木季熊
第216号 (1937.11.5)	
戦火江南に燃ゆ：戦線ルポルターヂユ	朝日新聞特派員 高橋正男
対岸在留邦人引揚者の諸救護処置に就て	毛利寛
第217号 (1937.12.1)	
南支に於ける抗日運動の実相 (2)	石井喜之助

[時報] ◎福大公司創立

第218号 (1938.1.1)

南支貿易の展望と我が対南支貿易の将来 井出季和太

第220号 (1938.3.1) 南支那特輯

南支那と台湾 田宮良策

南支展望 金子憲太郎

事変と西南支那の動向 佐藤佐

西南要人を語る 大毎東亜部 松本鎗吉

南支那の風物 (絵と文) 楊佐三郎

南支の航空界 佐倉光一

海南島 勝間田義久

事変と香港の昨今 志賀正之

南支主要都市素描

○福州 北原癸己男 ○廈門鼓浪嶼共同租界所観 魏根宣

○汕頭 榑藤鶴次 ○広東 山中覚 ○香港 金子滋男

将来の南支経済に就て 工藤耕一

南支貿易の展望と我が対南支貿易の将来 井出季和太

事変後の対南支那海運 吉開右志太

「南支の印象と当面の問題を語る」座談会

大阪毎日東亜部松田庄一・台湾日報政治部橋口政幸, ほか

香港・広東・新嘉坡と西南支那辺境 志能鐫川

第221号 (1938.4.1)

南支貿易の展望と我が対南支貿易の将来 井出季和太

第222号 (1938.5.1)

南支貿易の展望と我が対南支貿易の将来 井出季和太

<補白> 上海に於ける台湾館

中支特輯

上海を中心とする最近の中支政治外交情勢 台日特派員 衛藤俊彦

対支偶語 府外事部外事課長 加藤三郎

中支維新政府の人々 大毎東亜部 松本鎗吉

在滬台湾人の近況 荻洲生

最近の上海経済事情 殖産局特産課長 奥田達郎

上海地方の経済的地位と通貨並に金融 台湾銀行調査課長 牛尾竹之助

台湾対中支の海運 吉開右志太

中支を主とする支那文化を語る 台北帝大教授 神田喜一郎

廢墟南京 (詩) 江口隼人

[現地報告] 江南戦跡の防空施設を探る 満富俊美

[現地報告] 上海世相の一断面 津軽三平  
 [現地報告] 江南行 荻洲重之

<補白> 北支開発並中支振興両会社設立

第223号 (1938.6.1)

[現地報告] 江南戦跡の防空施設を探る 総督府防空課事務官 満富俊美  
 第224号 (1938.7.10)

厦門特輯

厦門の今昔と時局後の使命 井出季和太  
 厦門と福建華僑 台湾銀行理事 山本善治  
 南方対策上より見たる華僑(上) 石井喜之助  
 [現地通信] 引揚直後の厦門 G・K・S  
 [現地通信] 厦門は更生する 台湾日報社特派員 別所孝子郎  
 [現地通信] 厦門残兵掃蕩戦従軍記 読売新聞従軍記者 田中重雄

<補白> 厦門治安維持会

第227号 (1938.10.15)

最近の海南島経済(1) 勝間田義久  
 [現地報告] 壮絶!九江攻略戦を観る 台湾日日新報特派員 松田務

第228号 (1938.11.20)

最近の海南島経済(2) 勝間田義久

広東特輯

広東省近代政治史の一断面(上): 民国十五年五月五日を中心として

平山勲  
 時局と広東省貿易(並に香港貿易)大観 井出季和太  
 広東省経済瞥見 台湾銀行広東支店 山田三平  
 広東省の交通 陳新座  
 広東省の南洋華僑に就いて 井出季和太  
 広東省の掌故及物語 九紋龍  
 [隨筆] 広東陥落万歳(詩) 中山侑  
 広東の文化 前島信次  
 広東の衛生事情 広東博愛病院長 山中覚  
 南支那の蛇 堀川安市  
 <補白> 広州人と茶  
 広東省の民族 石敢当  
 広東の印象 桑田六郎  
 広東省の鉱物資源 豊田正夫  
 広梅鉄道沿線の資源 室田早苗

<補白> 日支事変により広九線はどれだけ儲けたか

- 広東省人列伝(1) 津軽三平  
 広東省の風習 徐坤泉著 駱水源記  
 [現地報告] 広東強行記(1) 中村真雄  
 広東省図 台湾総督府官房調査課編纂  
 海南島読本 K・N・H  
 [時報] ◎広東攻略を嘉せられ ◎畏し秩父宮殿下には南支戦・帷幄に御  
 参画 ◎広東攻略に当りて台湾軍参謀長談
- 第229号(1938.12.20)  
 最近の海南島経済(完) 勝間田義久  
 広東省近代政治史の一断面(下) 平山勲  
 広東を視察して  
 ニューヨークC・B・S放送会社極東代表 W.K.ウィルス  
 新生厦門点描(1) 別所孝二  
 広西特輯  
 広西省の民族 石敢当  
 広西の要人 佐藤佐  
 広西の教育 洪耀勲  
 広西省の交通 陳新座  
 広西省の宗教 施学習  
 広西省農業経済概況 大山昭  
 広西省の金融 駱水源  
 広西省の銀行業 静山生  
 広西省の鉱業 豊田正夫
- 第230号(1939.1.1)  
 [現地通信] 広東の陥落と香港の困迷(上) 三島文平  
 [現地通信] 広東のあけくれ 三江生  
 [現地通信] 新生厦門点描(2) 別所孝二  
 [現地通信] 中支那経済雑感 森岡憲爾
- 第231号(1939.2.13)  
 南支の将来に対する台湾の重要性 日本糖業聯合会理事 中瀬拙夫  
 [時報] ◎森岡総務長官南支を訪問 ◎総督府より南支へ官民合同皇軍慰  
 問団を派遣 ◎督府にて編成の南支派遣衛生班渡広す ◎厦門への復帰  
 者数七千六百余に及ぶ
- 第232号(1939.3.18)  
 広東従軍断想  
 南支派遣従軍体験記(1) 頼海清  
 広東従軍の想ひ出 林鐘

- 南支攻略の意義と新秩序建設の要諦 范炳耀
- <補白> 広東に邦人小学校：四月から開校の準備
- 南京防疫班 弓削五郎
- <補白> 瓊山治安維持会結成さる
- 海南島特輯
- 現下の海南島 東洋協会囑託 井上謙吉
- <補白> 海南島は地獄：蒋介石政権時代の悪政
- 海南島の民族 石敢当
- <補白> 海南島と列国権益（1）
- 海南島を繞る国際事情 尾見昭
- 海南島の交通 陳新座
- 海南島黎族の奇習
- 北海事変と海南島 若林修史
- 海南島攻略の反響：外紙の論調 編集部
- <補白> 海口海関を接收
- 海南島外国貿易史 小葉田淳
- 海南島と倭寇 台北帝大助教授 箭内健次
- <補白> 海南島へ仁術隊
- 豊かなる海南島：実地踏査の想ひ出 下宮篤之
- <補白> 海南島と列強の権益
- 台湾と海南島：明石総督の海南島開発計画 賀来佐賀太郎
- 先人の偉業と旅行者：海南島夜話 増田信
- 海南島攻略と蒋介石（朝日）
- 海南島悪政の一例 平山勲
- 海南島の科学探検 農学博士 田中長三郎
- <補白> 海口の治維会華々しく成立
- 海南島の地質と土壤 台北帝大教授・農学博士 渋谷紀三郎
- 海南島の動物管見 台北第二師範教諭 堀川安市
- 海南島植物資源 農学博士 田中長三郎
- 海南島及びその附近の漁業 総督府水産試験場長 与儀喜宜
- 海南島概要 附：海南島全図 鹿又光雄
- 第233号（1939.4.24）
- 広東従軍断想：南支派遣従軍体験記（2） 頼海清
- 武漢攻略報告書（1） 大阪毎日新聞特派員 山本礼
- [時報] ◎南支へ農業指導員を派遣
- 第234号（1939.5.20）
- 広東従軍断想：南支派遣従軍体験記（3） 頼海清

- 海南島の気象 理学博士 西村伝三  
 <補白> 広東に日語同学会、近く盛大に発会式
- 第235号 (1939.6.22)  
 南支経済建設の基調と現段階 福大公司専務取締役 竹藤峰治  
 武漢攻略報告書(2) 大阪毎日新聞特派員 山本礼  
 広東従軍断想：南支派遣従軍体験記(4) 頼海清
- 第236号 (1939.8.1)  
 厦門コロンス問題の真相を衝く 台湾日日新報厦門支局長 石川凡  
 <補白> 厦門特別政府成立式  
 海南島中部討伐戦記 唯岡増  
 汕頭特輯  
 南支に於ける潮汕地方の地位 福大公司企画部長 長野政来  
 支那文化史上に於ける潮汕地方 台北帝大教授 神田喜一郎  
 <補白> 汕頭に治維会籌備所  
 汕頭の金融事情と華僑問題 台湾銀行検査課長・元汕頭支店長 貴志政亮  
 <補白> 店頭に“皇軍歓迎”の文字：「古都潮州」朗かな更生ぶり  
 汕頭貿易の特質と重要性 通信部海事課 吉開右志太  
 汕頭所見 (絵と文)片瀬弘  
 汕頭を語る 前汕頭東瀛学校長 石井喜之助  
 汕頭夜話 前大阪商船汕頭支店長 飯田徳三郎  
 潮梅地方の一般経済事情 台湾銀行調査課  
 <補白> 王道楽土の第一歩：瓊人治瓊の理想は実現
- 第237号 (1939.9.1)  
 南支に於ける欧米諸国の侵略過程と其の權益 台北帝大附属農林専門部教授 根岸勉治  
 福建省に於ける木材パルプ資源 福大公司取締役支配人 立木貞蔵  
 海南島記 青果同業組合専務 郡茂徳  
 海南島中部討伐戦記 唯岡増  
 <補白> 海口市府誕生  
 [時報] ◎新鋭の農業義勇団、中支へ向け勇躍出発
- 第238号 (1939.10.5)  
 南支那の復興建設を現地に見る：汕頭 道端定三  
 <補白> 厦門を拠点に台湾煙草の進軍
- 第239号 (1939.11.18)  
 福建省の電気事業：現勢と建設庁の改進黨策 福大公司取締役支配人 立木貞蔵

- 現地報告：海南島医学奉仕， 広東・厦門学事視察
- 海南島の医学奉仕より帰りて 台北帝大附属医学専門部教授 大村泰男  
台北帝大医学奉仕団海南島記 藤崎春男  
海南島より帰りて 台北帝大医学部 蒲地勇三  
広東方面視察記 大橋公学校長 小林正一  
大陸視察記：厦門方面 承陽生  
東沙島の沿革 山下太郎  
南支見聞記 杜丘生
- 第240号（1939.12.19）
- 東沙島の沿革 山下太郎  
[随筆] 南京だより 南勲  
広西省の文化 前島信次  
海南島外国貿易史（補説） 台北帝大助教授 小葉田淳
- 第241号（1940.1.15）
- 南支那の建設に協力する台湾 総督府南支調査局事務官 大田修吉
- 第242号（1940.2.29）
- 汕頭の産業及経済 前田仁平  
上海・西貢の印象 天然瓦斯研究所技師 松井明夫  
[時報] ◎広東に常置駐在官， 従来の交代制を廃す
- 第244号（1940.5.1）
- 南支那雑感 山下益治  
＜補白＞ 珠江を制限付き開放， 広東の一般貿易許可
- 第245号（1940.5.30）
- 広東貿易の特殊性 駱水源
- 第246号（1940.6.20）
- 歴史上より見たる我国と潮汕地方との交渉
- 台北帝大文政学部助教授 小葉田淳  
中支那社会経済雑感 台北帝大文政学部講師 東嘉生  
[現地報告] 海口のあけくれ 浜中弘行
- 第247号（1940.7.13）
- 歴史上より見たる我国と潮汕地方との交渉（2）
- 台北帝大文政学部助教授 小葉田淳  
汕頭だより 小島倭佐男
- 第248号（1940.8.1）
- 再建広東の現勢 南支派遣軍報道部長・陸軍歩兵中佐 佐久間喬宣  
＜補白＞ 南支ジャーナリズム全貌  
[現地だより] 海口だより 浜中弘行

- [現地だより] 広東だより 国分一太郎
- [時報] ◎広州湾監視員円山大佐一行 ◎総督府から南支調査団派遣 ◎  
福建に和平救国軍 ◎瓊崖臨時政府の成立一周年 ◎汕頭の事変記念日  
◎記念日を迎へた厦門 ◎全閩水産会社
- 第249号 (1940.9.1)
- 南支調査団の使命を終へて 総督府企画部事務官 波多野静夫  
海南島瓊山県各工業の現状及び今後改革すべき計画  
広東日本人商業会議所議員 施学習
- [現地だより] 汕頭だより 小島倭佐男
- [現地だより] 厦門だより 中山侑
- [現地だより] 広東だより 黒木敏朗
- 重圧下の香港を観る 台湾新民報編輯総務 竹内清
- [時報] ◎汪厦門高等法院長ら台湾の司法事務視察 ◎南京の中央大学に  
六十二名の留学生 ◎海南島治安も確保され帝大から調査隊
- 第250号 (1940.10.5)
- [現地だより] 広東だより 国分一太郎
- [現地だより] 厦門だより 庄司徳太郎
- 台北帝大海南島派遣学徒団報告書 農林専門部・平川勝 医学部・牧道孝  
農専農科・中村寅吉 医学専門部・青木恒
- [現地だより] 汕頭だより 小島倭佐男
- 第251号 (1940.11.1)
- 広東攻略二周年と仏印進駐 南支軍報道部長 作間喬宜  
四川省県政の今昔観 総督府情報部員 磯大端  
南京大学留学生団引率記 劉興柔  
厦門だより 中山侑  
根岸氏近著「南支那農業経済論」について 白鳥勝義
- 第252号 (1940.12.1)
- 汕頭だより 粵東派遣軍報道部員 田村五郎
- 第253号 (1941.1.1)
- 海南島の迎年：現地報告 曾景来
- [時報] ◎海南島へ探査隊
- 第254号 (1941.2.1)
- 広東だより 広東共栄会職員 後藤彦十郎
- 第255号 (1941.3.4)
- 広東手記 真杉静枝  
泉州城遊記 徐以斯
- 第256号 (1941.4.1)

- 南支文化政策の検討：本誌主催座談会 台北帝大教授 中井淳 ほか  
 広東だより 後藤彦十郎  
 昭和十五年回顧抄（3）：上海一九四〇年 編輯部  
 第258号（1941.6.1）  
 戦地だより：灰を埋む 南支派遣軍 清水  
 豊泉  
 福州点描 羽根信雄  
 広東だより 後藤彦十郎  
 第259号（1941.7.1）  
 特輯・海南島の現貌  
 海南島の畜産 台北帝大理農学部教授 山根甚信  
 海南島のゴム 台北帝大農専教授 田添元  
 海南島の植物 正宗巖敬  
 海南島の黎族の農業 台北帝大理農学部教授 奥田彧  
 海南島の民俗断片 台北帝大医学部教授 金関丈夫  
 海南島垣のぞき (絵と文) 宮尾しげを  
 福州歌謡偶記 楊雲萍  
 香港だより K・K  
 第260号（1941.8.1）  
 海南島垣のぞき（2） (絵と文) 宮尾しげを  
 海南島の水産について 拓洋水産常務 与儀喜宣  
 [随筆] 広東みやげ 台北放送局アナウンサー 倉鋪敏治  
 第261号（1941.9.1）  
 南支那に於ける家族と村落 台北帝大講師 岡田謙  
 第262号（1941.10.1）  
 海南島と大学生  
 明るい島 台大医学部 浜崎敬英  
 未来の農学技師から 農林専門部 山田俊雄  
 六つの街 医学部 郷原幸吉  
 現地の感懐 医学部 岡元芳生  
 海南島の農場 寺林清一郎  
 第264号（1941.12.1）  
 海南島の農場（続） 寺林清一郎  
 故澤重信氏（厦門全閩新日報社長）を憶ふ 村上与志男  
 第266号（1942.2.7）  
 海南島の黎界紀行 寺林清一郎  
 第269号（1942.5.15）

## 随想・海南島

- 躍進する海南島経済  
 海南島の調査と旅  
 第276号 (1942.12.5)  
 台北帝大講師 東嘉生  
 総督府文教局調査官 宮本延人
- 海南島農林開発に於ける教育者の立場  
 第277号 (1943.1.1)  
 青木繁
- 対日米空軍基地の地理 (支那)  
 第281号 (1943.5.15)  
 山霞生
- 海南島の松に就て  
 第283号 (1943.7.10)  
 青木繁
- [現地報告] 戦争を体験する南支那 総督府有資格者南支那調査団第二班  
 変貌する広東経済：新刊「広東の現状」をよみて  
 東洋産業高雄出張所長 錦光山雄二  
 第288号 (1943.12.27)
- 南支那 (広東)・台湾連繫の方途 広東日本人商業会議所主事 田中備  
 第293号 (1944.6.10)  
 九龍生活 亀田恵美子

(原載：東洋文庫近代中国研究班『近代中国研究彙報』第37号，2015年3月，121-156頁)